コンパクトディスクプレーヤー

C-7070

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大
切に保管してください。

目次

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

主な特長

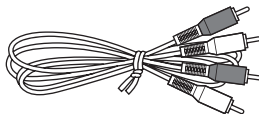
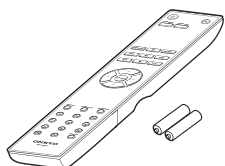
■ デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する回路、「DIDRC*1（Dynamic Intermodulation Distortion Reduction Circuit）」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現
■ 静音設計のアルミダイキャストトレイ採用
■ 振動に強く剛性の高い 1.6mm 厚シャーシを使用
■ アルミニウム製フロントパネル
■ 大型パワートランス搭載
■ ウォルフソン・マイクロエレクトロニクス社製 192 kHz/24 ビット D/A コンバーター搭載
■ ハイファイ仕様のコンデンサー採用
■ OPTICAL（光）と COAXIAL（同軸）のデジタル出力を各 1 系統装備
■ アナログ出力時のノイズ低減に役立つデジタル出力オフ機能
■ ２種類のデジタルフィルター搭載
■ 音楽 CD、MP3/WMA*2 CD、CD-R/RW の再生可能
■ MP3/WMA CD 再生の素早いナビゲート
■ ２つのリピート再生モード（1 曲 / 全曲）
■ 最大 25 曲のプログラム再生機能
■ RI によるリモート操作
■ 表示部の明るさを調整できるディマー機能
■ 標準プラグ（φ6.3mm）のヘッドホン端子装備
■ 自動スタンバイ機能

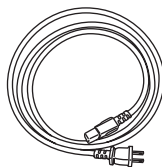
＊1　DIDRC はオンキヨー株式会社の登録商標です。
＊2　Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

箱の中身を確かめる

下記の付属品が入っているかご確認ください。( )内の数字は数量をあらわしています。

- リモコン― RC-822C（1）
- 乾電池（単4形 R03）（2）

- オーディオ用ピンコード（80 cm）（1）

- 電源コード（1.8 m）（1）

- RIケーブル（80 cm）（1）

RI 端子付きオンキヨー製品との
システム接続をするケーブルです。

- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）
- ユーザー登録カード（1）
- オンキヨーご相談窓口・
修理窓口のご案内（1）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

・煙が出ている、変なにおいや音がする
・本機を落としてしまった
・本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■放熱を妨げない

禁止

・本機を押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
（本機の天面から2cm以上、背面から5cm以上のスペースをあける）
・逆さまや横倒しにして使用しない
・布やテーブルクロスをかけない
・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところで使用しない
・本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

・電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
・本機のディスク挿入口から異物を入れない。

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■長時間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

禁止

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドフォンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。

音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

CD（音楽 CD、MP3、WMA）について

再生上のご注意

CD(コンパクトディスク)はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

オーディオ用以外のディスク例えばパソコン用 CD-ROM などは絶対に使用しないでください。ノイズなどでスピーカーやアンプなど損傷する恐れがあります。

※ 本機は CD-R、CD-RW に対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用 CD レコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽 CD の中には正式な CD 規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3、WMA ディスクの再生について

本機は CD-R/CD-RW に記録した MP3、WMA ファイルを再生することができます。

- ISO9660 レベル２のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。ただし、対応している階層は ISO9660 レベル 1 と同じ 8 階層までです。
- HFS(hierarchical file system)ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- フォルダ(ルートを含む)は最大99まで、またフォルダ(ルートを含む)とファイルの合計が 499 まで認識、再生することができます。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

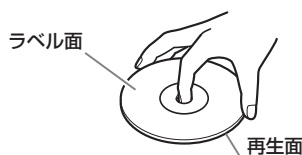
MP3 ディスクの再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3(32-320kbps)のサンプリング周波数 32/44.1/48kHz で記録されたファイルに対応しています。
- 32kbps から 320kbps の可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMA ディスクの再生について

- WMA は「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 32kbps から 192kbps(32/44.1/48kHz)の可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護された WMA ファイルは再生できません。
- WMA Pro、Lossless および Voice には対応していません。

取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

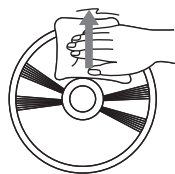
レンタル CD の注意について

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応 CD-R/CD-RW の注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

CD のお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

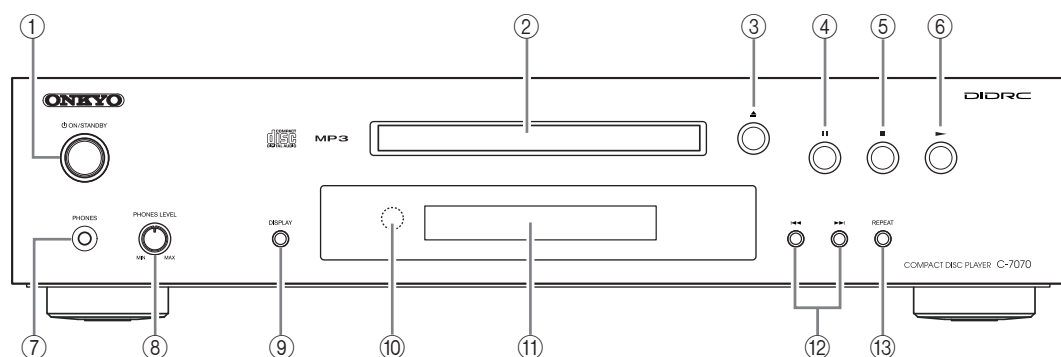
本機の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

オン　スタンバイ
① ON/STANDBY ボタン〔15〕
電源のオン / スタンバイを切り換えます。

② ディスクトレイ〔16〕
ディスクをセットします。

オープン / クローズ
③ ⏏ ボタン〔16〕
ディスクトレイを開閉します。

ポーズ
④ ❚❚ ボタン〔16〕
再生を一時停止します。一時停止中は、再生を再開します。

ストップ
⑤ ■ ボタン〔16、18、19、22、24、25〕
ディスクの再生を停止します。

プレイ
⑥ ► ボタン〔16、18、19、21-23〕
ディスクを再生します。

フォーンズ
⑦ PHONES 端子〔15〕
標準プラグのステレオヘッドホンを接続します。

フォーンズ　レベル
⑧ PHONES LEVEL つまみ〔15〕
ヘッドホンの音量を調整します。右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

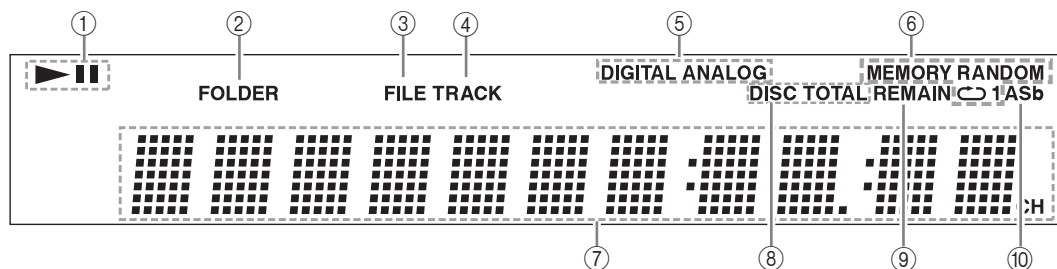
ディスプレイ
⑨ DISPLAY ボタン〔17、20、22〕
表示部の情報を切り換えます。

⑩ リモコン受光部〔13〕
リモコンからの信号を受信します。

⑪ 表示部〔10〕
次ページをご覧ください。

⑫ ⏮/⏭ ボタン〔16、17、20、21、26〕
前後の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生を早送り、早戻しします。

リピート
⑬ REPEAT ボタン〔23〕
リピート再生や 1 曲リピート再生を設定します。

表示部

① ►（プレイ）/ II（ポーズ） 表示
►:ディスク再生時に点灯します。
II :一時停止中に点灯します。

② FOLDER（フォルダ） 表示
MP3 あるいは WMA フォルダの番号と共に点灯します。

③ FILE（ファイル） 表示
MP3 あるいは WMA ファイルの番号と共に点灯します。

④ TRACK（トラック） 表示
ディスクの再生トラック番号と共に点灯します。

⑤ DIGITAL（デジタル）/ANALOG（アナログ） 表示

⑥ 再生モード表示

MEMORY（メモリー）: メモリー再生中に点灯します。
RANDOM（ランダム）: ランダム再生中に点灯します。
⮌: 全曲リピート再生中に点灯します。
⮌1: 1 曲リピート再生中に点灯します。

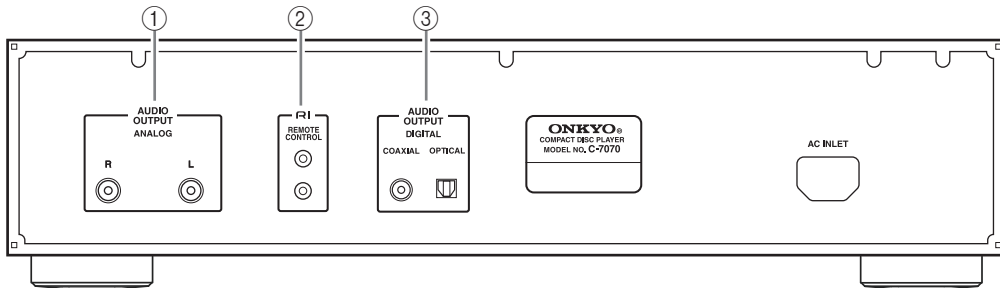
⑦ 多目的表示部
再生時間やタイトル名などを表示します。

⑧ DISC（ディスク）/TOTAL（トータル） 表示
ディスクのトータル時間あるいは曲の長さを表示中に点灯します。

⑨ REMAIN（リメイン） 表示
ディスクの残り時間あるいは曲の残り時間を表示中に点灯します。

⑩ ASb（オートスタンバイ） 表示
自動スタンバイが「On」に設定されていると点灯します。

後面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① AUDIO OUTPUT(ANALOG)端子〔14〕
（オーディオ　アウトプット　アナログ）
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

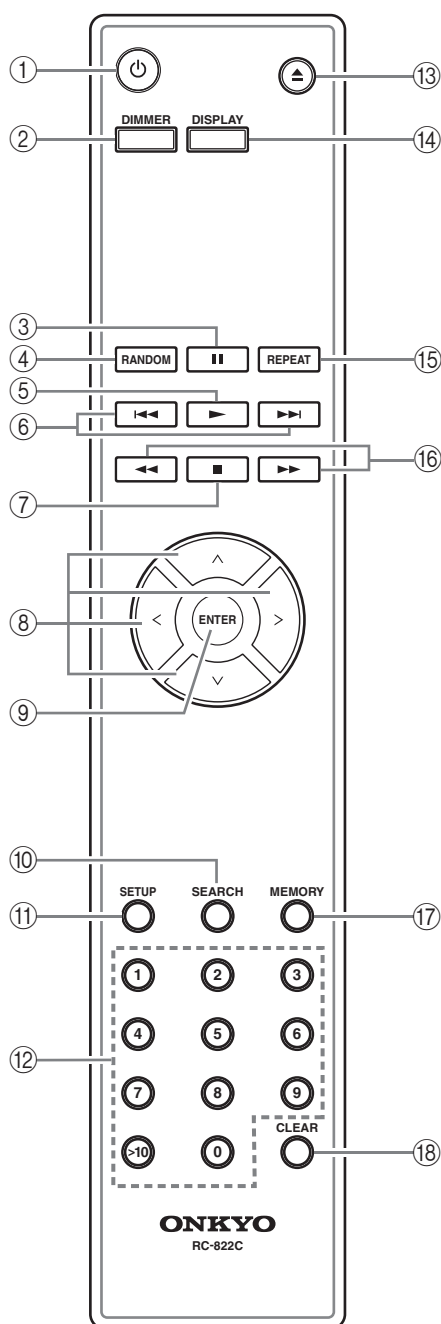
② RI REMOTE CONTROL 端子〔14〕
（リモート　コントロール）
RI 端子のあるオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。

③ AUDIO OUTPUT DIGITAL(OPTICAL/COAXIAL)〔14〕
（オーディオ　アウトプット　デジタル　オプティカル　コアキシャル）
OPTICAL 端子は市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って、COAXIAL 端子は市販の同軸デジタルケーブルを使って、録音機器やアンプなどのデジル音声入力端子と接続します。2 つの端子は、同じデジタル音声を出力します。

接続については、14 ページをご覧ください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

リモコン

〔　〕内のページに主な説明があります。

① ⏻ ボタン〔15〕
電源のオン / スタンバイを切り換えます。

② DIMMER（ディマー） ボタン〔15〕
表示部の明るさを切り換えます。

③ II（ポーズ） ボタン〔16、17、19、23〕
再生を一時停止します。

④ RANDOM（ランダム） ボタン〔21〕
ランダム再生を設定します。

⑤ ►（プレイ） ボタン〔16、17、19、21-23〕
再生を始めます。

⑥ ⏮/⏭ ボタン〔16、17、19-22〕
再生中の曲や前後の曲の頭出しをします。

⑦ ■（ストップ） ボタン〔16-19、22、24〕
再生を停止します。

⑧ ∧/∨/</> ボタン〔15、18-20、22-24〕
設定項目を選択します。ENTER を押すと選択している項目を確定します。

⑨ ENTER（エンター） ボタン〔15、18-20、22-24〕
各種設定を決定します。

⑩ SEARCH（サーチ） ボタン〔20〕
再生中に MP3 や WMA を記録した CD のフォルダや曲を検索します。

⑪ SETUP（セットアップ） ボタン〔15、24〕
各種設定を表示します。

⑫ 数字ボタン〔17、19〕
選曲に使用します。

⑬ ⏏ ボタン〔16〕
ディスクトレイを開閉します。

⑭ DISPLAY（ディスプレイ） ボタン〔17、20〕
表示部の情報を切り換えます。

⑮ REPEAT（リピート） ボタン〔23〕
リピート再生や 1 曲リピート再生を設定します。

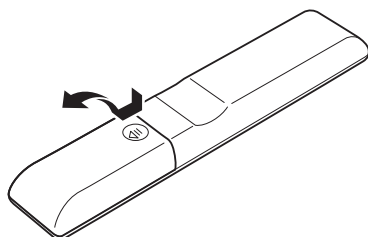
⑯ ◄◄/►► ボタン〔16、17、22〕
再生を早送り、早戻しします。

⑰ MEMORY（メモリー） ボタン〔21-23〕
メモリー再生を設定します。

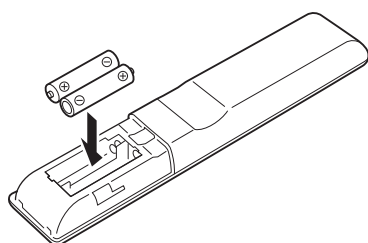
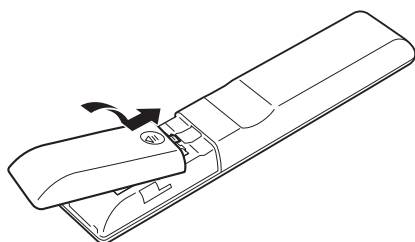
⑱ CLEAR（クリア） ボタン〔21〕
数字入力時に入力を取り消します。メモリー設定時に記憶した曲を取り消します。

リモコンを準備する

電池交換のしかた

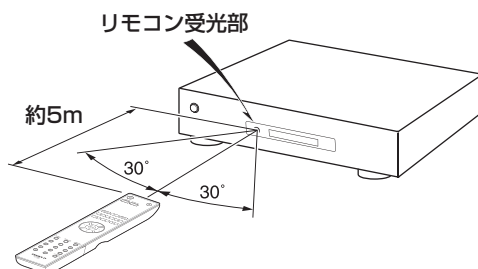
1 小さなくぼみを押しながら、スライドし電池カバーを開ける

2 図の極性に合わせて（単４形、R03）を入れる

3 電池カバーを元に戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して２本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単４形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

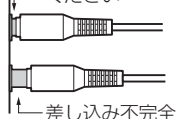
ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

接続する

機器を接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（R の表示）、白いコネクターを左チャンネル（L の表示）に接続してください。

•コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

！ヒント

オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

光デジタル出力端子について

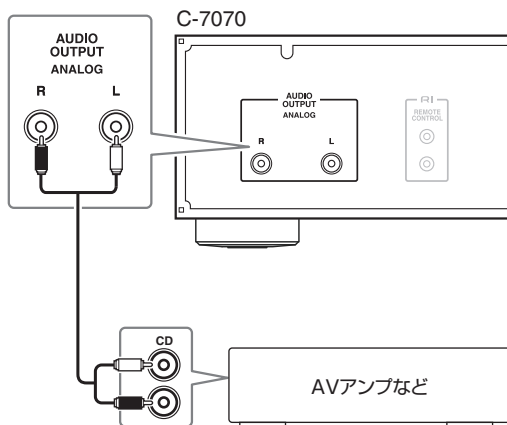
本機の光デジタル出力端子はとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

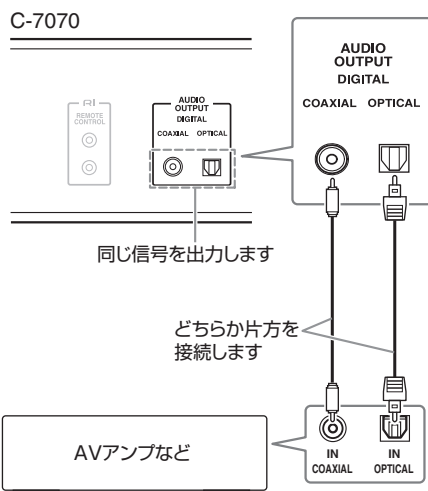
アンプとアナログ接続する

本機の AUDIO OUTPUT ANALOG 端子とアンプのアナログ音声入力端子を接続します。

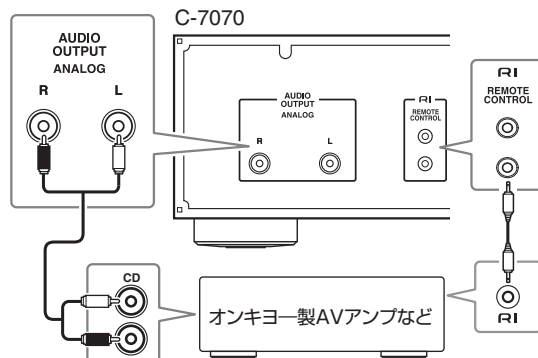
図は接続の例です。お使いのアンプなどに合わせて接続してください。

アンプや録音機器とデジタル接続する

デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、この接続をしてください。

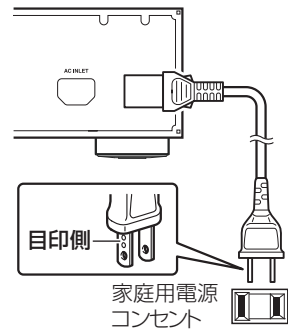
- OPTICAL 端子と COAXIAL 端子は同じ信号を出力します。

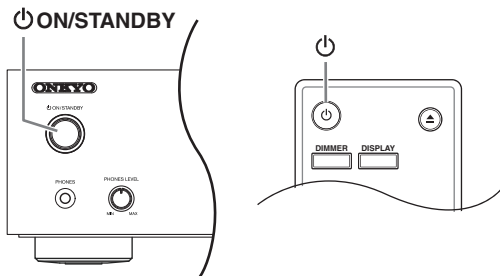
本機の AUDIO OUTPUT DIGITAL 端子とアンプや録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。

RI ケーブルの接続

付属の RI ケーブルを使って RI 端子の付いたオンキヨー製 AV アンプや AV レシーバーなどを接続すると、AV アンプや AV レシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI 端子は RI 端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI 端子が 2 つある場合、2 つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。

電源コードを接続する

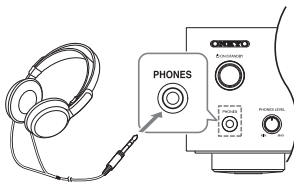
⚠ **すべての接続が完了していることを確認してください。**
付属の電源コードを本体後面の電源入力 AC100V に接続し、プラグを家庭用電源コンセントに接続する。

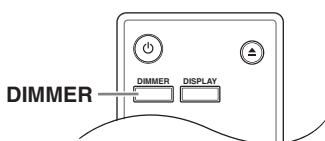
よりよい音で聞いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。
電源プラグの目印線側を家庭用電源コンセントの溝の広い方（アース側）に合わせて差し込んでください。
家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

基本操作

電源を入れる

本体またはリモコンの ⏻ ボタンを押す
表示部が点灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、もう一度ボタンを押します。

ヘッドホンで聞くときは

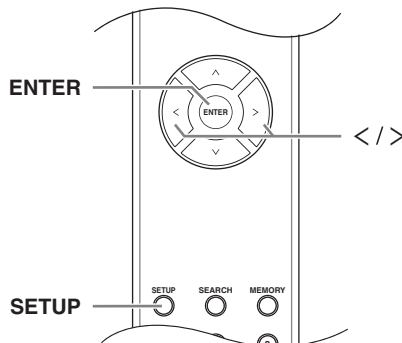
ヘッドホンの標準ステレオプラグを PHONES 端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンの音量は PHONES LEVEL つまみで調整します。

ご注意

PHONES 端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。

表示部の明るさを切り換える

リモコンの DIMMER ボタンを押す
押すたびに次のように明るさが変わります。

→ ふつう → やや暗い → 暗い ─┘

自動スタンバイ（ASb）の設定

お買い上げ時の設定は Off で自動スタンバイ機能は働きません。

本機が再生を停止したまま約３０分間操作しない場合、自動で電源が切 れてスタンバイ状態になるよう設定できます。設定操作は再生停止して行います。

1 SETUP ボタンを押します。

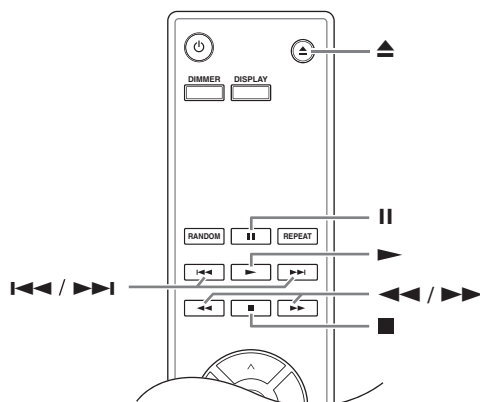
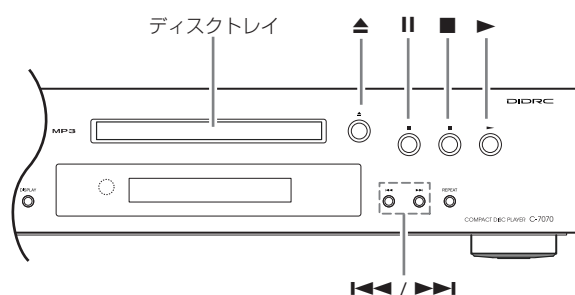
2 <／>ボタンで「ASb」の設定項目を表示し、ENTER ボタンを押します。

3 <／>ボタンで「Off」と「On」を切り替え、ENTER ボタンを押します。
On: 自動スタンバイ機能が有効です。
Off: 自動スタンバイ機能が無効です。

4 「COMPLETE」と表示され設定は確定されます。

ご注意

- 再生が一時停止状態の場合、３０分経過しても自動スタンバイ機能は働かず電源はオンのままとなります。
- 自動スタンバイ（ASb）が「On」に設定されているとき、自動スタンバイが働く約 30 秒前になると ASb 表示が点滅します。

CD を再生する

1 ⏏ ボタンを押してディスクトレイを開く

2 ラベル面を上にして CD をトレイに置きます。

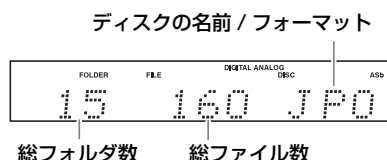
8cm CD の場合、トレイ内側に置きます。

3 ►(プレイ) ボタンを押します

ディスクトレイが閉まって再生が始まります。

⏏ ボタンでトレイを閉めてディスクをロードした場合、あるいは ■ ボタンで再生を停止した場合、ディスクの内容が以下のように 表示されます。

- **音楽 CD の場合**

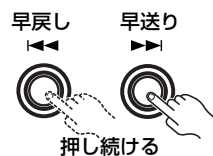
- **MP3/WMA CD の場合**

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中 / 一時停止中に I◄◄ ボタンを 1 回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。
  ►►I ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。

-MP3/WMA CD-

再生中、あるいは一時停止中に I◄◄ ボタンを押すと選択されているファイルの頭に戻ります。
再生停止中にファイルを選んだときは ► ボタンを押して再生を始めます。
別のフォルダのファイルを選ぶときには I◄◄/►►I ボタンを使います。

早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に本体パネルの I◄◄ または ►►I ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指を離します。
リモコンキーでは ◄◄ または ►► ボタンを押しつづけると早戻し / 早送りします。

一時停止する

II(ポーズ) ボタンを押す

表示部に II 表示が点灯します。
もう一度 II ボタンか ► ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■(ストップ) ボタンを押す

CD を取り出す

⏏ ボタンを押しディスクトレイを開けて取り出します。

リモコンで操作する

[II]
再生を一時停止する。もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

[►]
再生する。

[I◄◄]/[►►I]
聞きたい曲を選ぶ
再生中 / 一時停止中に I◄◄ ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 つずつ前の曲に戻ります。
►►I ボタンを押すと 1 つずつ次の曲に進みます。
MP3/WMA CD では他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

[■]
再生を止める。

[DISPLAY]
表示部の情報を切り換える
DISPLAY ボタンを押します。
詳しくは下の説明をお読みください。

[◄◄]/[►►]
早戻し / 早送りをする
再生中 / 一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

トラックを選びます。

例）**トラック： ボタン：**

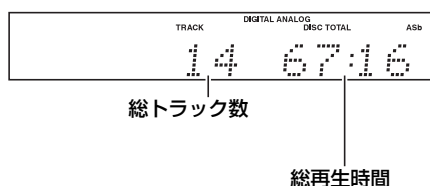
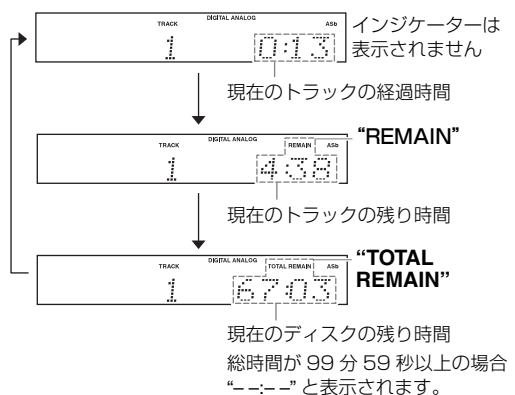
トラック	ボタン
8	8
10	0 または >10 1 0
34	>10 3 4

>10 10 以上の番号選択に使います。

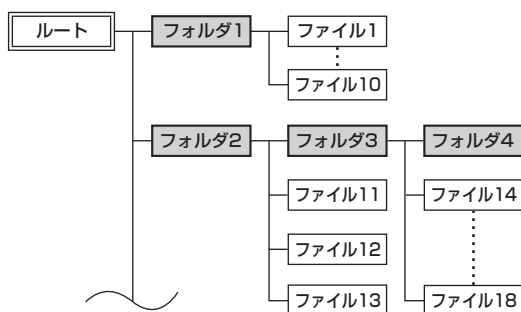
MP3/WMA CD では選んでいるフォルダ内のファイルを選びます。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンの DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

再生停止中

再生中、一時停止中

MP3/WMA CD の表示情報は 20 ページをご覧ください。

MP3/WMA CD でフォルダ / ファイルを選ぶ

MP3/WMA CD ではフォルダの中に MP3/WMA ファイルが入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中に MP3/WMA ファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは上記の番号順に再生します。フォルダを選んでから再生したいファイルを選ぶには、次の二つの方法があります。

ナビゲーションモード： フォルダの階層に従って順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。

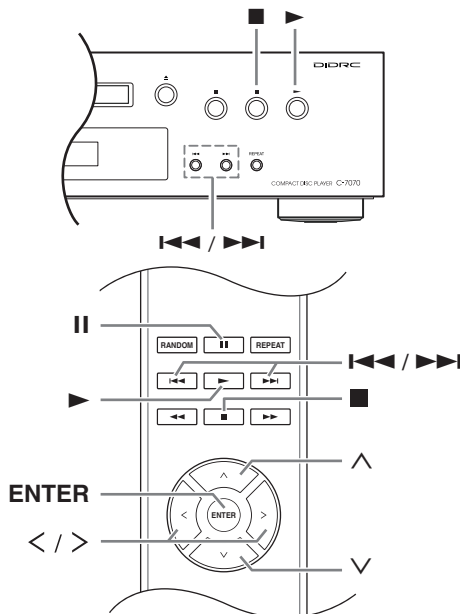
オールフォルダモード： すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んで、ファイルを選びます。

停止中にリモコンの ■ ボタンあるいは ∨ ボタンを押すとナビゲーションモードに入り、II ボタンあるいは ∧ ボタンを押すとオールフォルダモードになります。

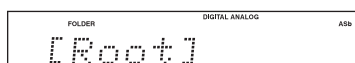
本体パネルで操作する場合は ■ ボタンを 1 回押すとナビゲーションモードに入り ■ ボタンを押しつづけるとオールフォルダモードに入ります。

本体パネルの ■ ボタンを使ってモード設定する場合、■ ボタンの動作を変更できます。（→25ページ「各設定について」の「STOP KEY」の項をご覧ください。）

ナビゲーションモードでファイルを選ぶ

ナビゲーションモードではファイル選択をフォルダの階層構造に添って選びます。再生を停止した状態で操作します。

1 停止中にリモコンの ■ ボタンあるいは ∨ ボタンを押してナビゲーションモードにする（本体パネルでは ■ ボタン）

表示部に「ROOT」と表示されます。

FOLDER DIGITAL ANALOG ASb
[Root]

2 ∨ ボタンあるいは ENTER ボタンを押す（本体パネルでは ► ボタン）

「ROOT」の下の最初のフォルダ名が表示されます。

フォルダ名が無いときは、ファイル名が表示されます。

3 ＜／＞ボタン、または ⏮/⏭ ボタンを押す

同じ階層の他のフォルダ名 / ファイル名が表示されます。

ひとつ上の階層に戻るには ∧ ボタンあるいは II ボタンを押します。（本体パネルでは ■ ボタン）

ファイルの入っていないフォルダあるいはサブフォルダのないフォルダは選ぶことができません。

フォルダ名が無いときは、ファイル名が表示されます。

4 ∨ ボタンあるいは ENTER ボタンを押すと、下の階層のフォルダあるいはファイルを選択できます。
（本体パネルでは ► ボタン）

5 ＜／＞ボタンあるいは |◄◄/►►| ボタンを押してフォルダ内のファイルを選びます。

6 ► ボタンあるいは ENTER ボタンを押す

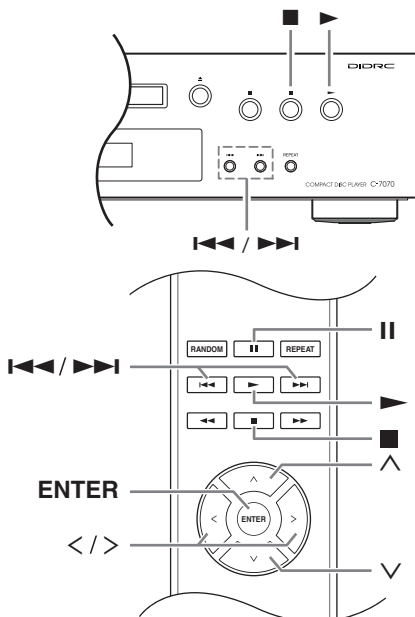
表示されたフォルダあるいはファイルの再生が始まります。フォルダ内の全てのファイルが再生するまで続きます。

- 途中で選曲をやめるには、リモコンの ■ ボタンを押します。

ご注意

- 本体パネルの ■ ボタンは、設定によって動作が異なります。（25 ページの「STOP KEY」を参照ください。）

オールフォルダモードでファイルを選ぶ

オールフォルダモードでは、ファイルを含むすべてのフォルダが同じレベルに表示され、フォルダの階層構造に関係なくファイルを選びます。
再生を停止した状態で操作します。

1 停止中にリモコンの II ボタンあるいは ∧ ボタンを押してオールフォルダモードにする（本体パネルでは ■ ボタンを押しつづける）

ひとつめのフォルダ名に「1」が付いて表示されます。

FOLDER　DIGITAL ANALOG　ASb
1　My Musi

2 ＜／＞ボタンまたは |◄◄/►►| ボタンを押す

同じ階層の他のフォルダ名が表示されます。

3 ∨ボタンを押す（本体パネルでは ► ボタン）

フォルダ内のひとつめのファイル名が表示されます。

＜／＞あるいは |◄◄/►►| ボタンでフォルダ内のファイルを表示します。

他のフォルダを選ぶには II ボタン（本体パネルでは ■ ボタン）を押して |◄◄/►►| ボタンでフォルダを選びます。

4 ► ボタンあるいは ENTER ボタンを押す

表示されたフォルダあるいはファイルの再生が始まります。フォルダ内の全てのファイルが再生するまで続きます。

- 途中で選曲をやめるにはリモコンの ■ ボタンを押します。

■ 数字ボタンでフォルダやファイルを選ぶには

オールフォルダモードの時に使用できます。

1. 例のように数字ボタンを押してフォルダまたはファイル番号を入力します。フォルダ番号を入力した場合は、フォルダ内の最初のファイルから再生が始まります。

例）

8 ファイル目　：(8)
10 ファイル目　：(0) または (>10) (1) (0)
34 ファイル目　：(>10) (3) (4)

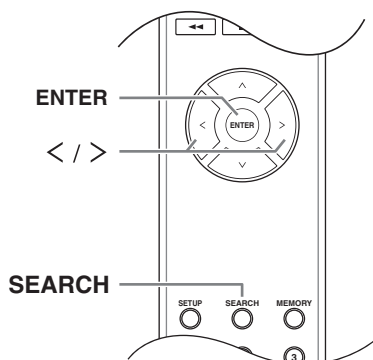
2. フォルダにより100個以上のファイルが入っている場合、次のように選曲します。

例）

8 ファイル目　：(>10) (0) (0) (8)
34 ファイル目　：(>10) (0) (3) (4)
134 ファイル目　：(>10) (1) (3) (4)

ご注意

- 本体パネルの ■（ストップ）ボタンは、設定によって動作が異なります。（25 ページの「STOP KEY」を参照ください。）

再生中に他のフォルダを選ぶ（サーチモード）

1 再生中に SEARCH（サーチ）ボタンを押す

表示部が点滅します。

2 < ボタンで前のフォルダ、> ボタンで後のフォルダを選びます。

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

ファイル名が表示され選んだフォルダの 1 曲目から再生が始まります。

4 ⏮/⏭ボタンを使って前後のファイルを選択して再生する

ご注意

SEARCH（サーチ）ボタンはランダム再生、メモリー再生中は使えません。

MP3/WMA の情報を表示する

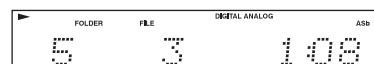
本体

DISPLAY

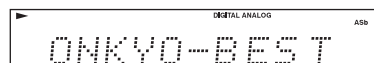
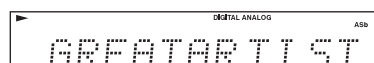
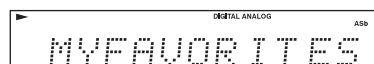
リモコン

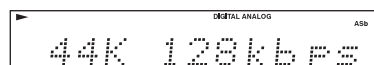
再生中の MP3/WMA ファイルの各種情報を表示できます。タイトル 名、アーティスト名、アルバム名の ID3 タグ情報も表示できます。

再生中に DISPLAY ボタンを繰り返し押します。以下の MP3/ WMA ファイルの各種情報を表示します。

ファイルの経過時間:
再生しているファイルの経過した時間（初期表示）

ファイル名:
現在のファイル名

フォルダ名:
現在のフォルダ名

タイトル名:
現在のファイルのタイトル（ID3 タグがある場合）。
ID3 タグがない場合、「TITLE-NO DATA」と表示されます。

アーティスト名:
アーティストの名前（ID3 タグがある場合）。
ID3 タグがない場合、「ARTIST-NO DATA」と表示されます。

アルバム名:
アルバムの名前（ID3 タグがある場合）。
ID3 タグがない場合、「ALBUM-NO DATA」と表示されます。

サンプリング周波数とビットレート:
現在のファイルのサンプリング周波数とビットレート

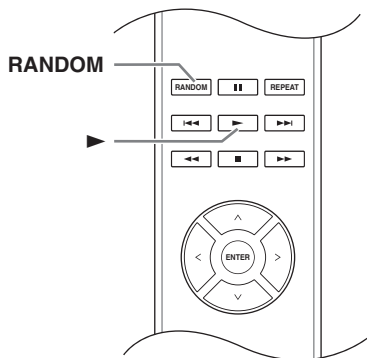
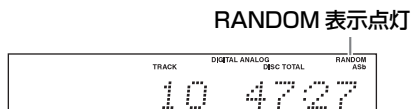
ご注意

- ディスク名を表示する場合、再生停止中に DISPLAY ボタンを押 します。
- ファイル名やフォルダ名に表示できない文字は下線で表示されます。また表示できない文字を含んでいる時は番号で表示するように設定することもできます。（「FILE n」「FOLDER n」など、n は番号です。25 ページの「BAD NAME」を参照ください。）

色々な再生モード

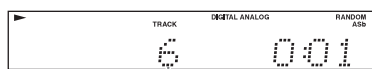
次の再生モードも使用できます。

- ランダム再生
- メモリー再生
- リピート再生

ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を一通り再生します。

1 停止中に RANDOM ボタンを押して、「RANDOM」を表示させる

RANDOM 表示点灯

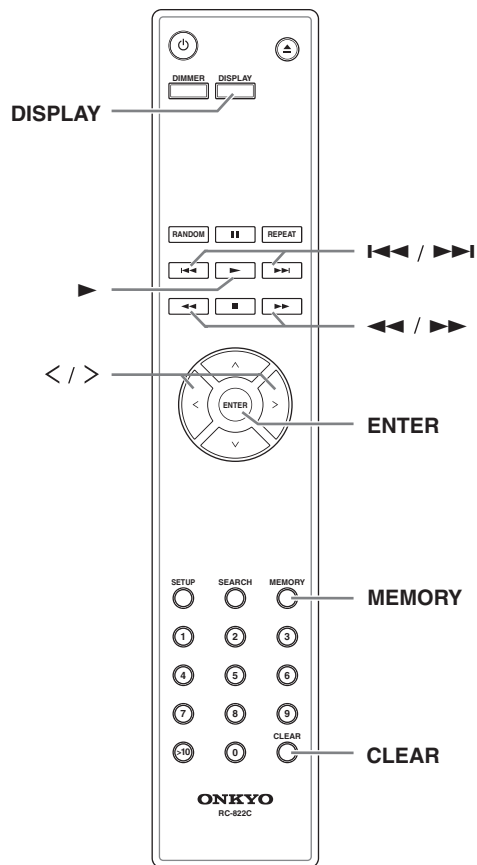
2 ►（プレイ） ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

再生中のトラック番号

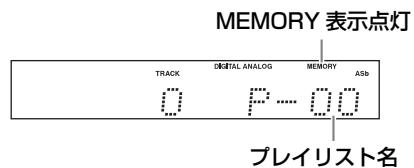
■ ランダム再生を解除するには

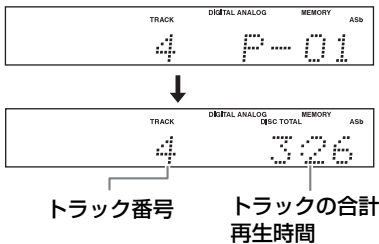
- 停止中に RANDOM ボタンを押して再生モードを切り換えると RANDOM 表示は消えてランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出しても解除されます。

メモリー再生（音楽 CD）

曲を指定し(25 曲まで)、その順序で再生します。

メモリー再生操作は停止状態にして行います。

1 MEMORY ボタンを押して、「MEMORY」を表示させる

MEMORY 表示点灯

プレイリスト名

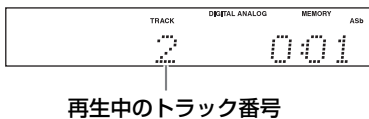
2 ＜／＞ボタンでファイルを選び、ENTER ボタンを押す

＜／＞ボタンを押し ENTER ボタンを押すかわりに数字ボタンを使って操作することもできます。

ご注意

- 総再生時間が 99 分 59 秒を超える場合は、「－－：－－」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを超えて登録しようとすると「MEM FULL」（メモリーフル）と表示されます。

3 ENTER ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

本体の ► ボタンを押して再生を始めることもできます。

■ 表示情報を切り替える

メモリー曲を指定中にDISPLAYボタンを押すと表示される情報が以下のように切り替わります。

メモリートラックの合計再生時間→メモリートラック番号→現在選択トラックの再生時間

■ メモリーした曲の中で選択する

再生中にリモコンの ⏮/⏭ ボタンを押すと、メモリーした曲の中から選曲できます。

■ メモリーした内容を確認するには

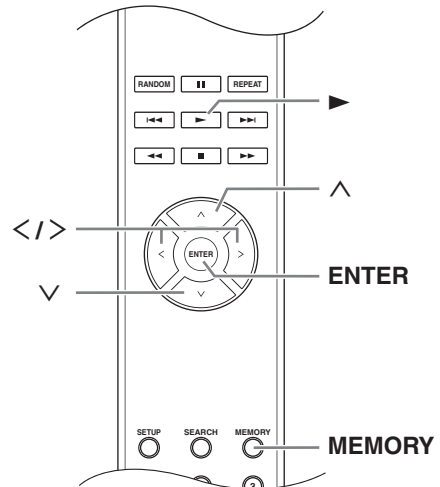
停止中にリモコンの ◄◄/►► ボタンを押してメモリー内容を確認できます。

■ メモリーした曲を取り消すには

- メモリー再生モード停止中に CLEAR ボタンを押すと、最後のメモリー曲から取り消すことができます。
- 停止中に MEMOEY ボタンを押して再生モードを切り換えると、MEMORY 表示が消えてメモリー再生は解除されメモリーした内容はすべて消えます。

■ メモリー再生を解除するには

- 停止中に MEMOEY ボタンを押して再生モードを切り換えると、MEMORY 表示が消えてメモリー再生は解除されメモリーした内容はすべて消えます。
- ディスクを取り出しても解除されます。

メモリー再生（MP3 WMA CD）

ナビゲーションモードでメモリーを再生する

停止状態にしてから操作します。

1 MEMORY ボタンを押して、「MEMORY」表示を点灯させる

MEMORY 表示点灯

FOLDER FILE MEMORY
0 0 P-00

2 ■ ボタンあるいは ∨ ボタンを押す（本体パネルでは ■ ボタン）

表示部に「ROOT」が表示され、ナビゲーションモードになります。

3 ENTER ボタンを押す

最初のフォルダの名前が表示されます。

4 <／>ボタンで同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ

- ファイルの入っていないフォルダは選ぶことができません。
- 階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返します。

5 ファイルを選んだら、ENTER ボタンを押す。

1 つ目のファイルがメモリーされます。

他の階層のファイルを選択する場合は∧ボタンを 1 回押して、手順 ***4***、***5*** をくり返します。

同じフォルダのファイルを続けてメモリーするときは、手順 ***4***、***5*** をくり返します。

6 ► ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

オールフォルダモードでメモリー再生をする

停止状態にしてから操作します。

1 MEMORY ボタンを押して、「MEMORY」表示を点灯させる

2 II あるいは ∧ ボタンを押す

表示部に「1」が表示され、オールフォルダモードになります。

3 <／>ボタンでフォルダを選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

5 <／>ボタンでファイルを選ぶ

6 ENTER ボタンを押す

1 つ目のファイルがメモリーされます。

7 ∧ ボタンを 1 回押して、手順 ***3***～ ***6***をくり返す

同じフォルダのファイルを続けてメモリーするときは、手順 ***5***、***6*** をくり返します。

8 ► ボタンを押す

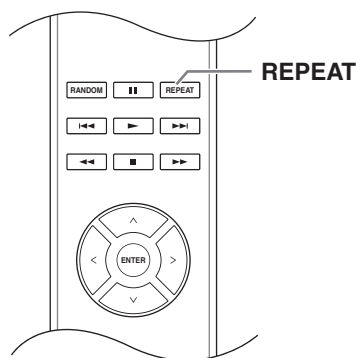
メモリー再生が始まります。

■ 表示を切り換えるには

メモリー設定中に DISPLAY ボタンを押すと、表示部の情報を次のように切り換えることができます。

→ ファイルネーム → フォルダネーム → メモリー番号

リピート／ 1 トラックリピート再生

- リピート再生は CD をくり返し再生します。
- 1 トラックリピート再生は 1 曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。

REPEAT ボタンを押して、「⮌」または「⮌1」を表示する

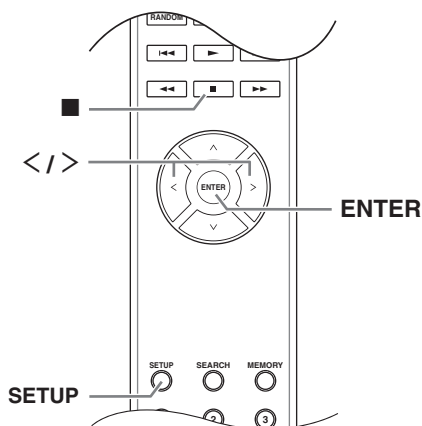
リピートまたは 1 トラックリピート再生モードになります。

■ リピート、1 トラックリピート再生を解除するには

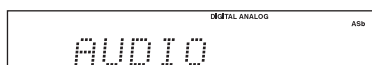
- REPEAT ボタンを(くり返し)押して、「REPEAT OFF」にすると、リピート、1 トラックリピート再生は解除されます。(⮌ 表示消灯)
- ディスクを取り出したときも解除されます。

設定する

設定手順

MP3/WMA ファイル情報の表示方法や、MP3/WMA ディスクの再生方法などを設定することができます。

設定はディスクを停止状態にしてから行います。

1 SETUP ボタンを押す

2 ＜／＞ボタンで変更したい項目を選ぶ

各項目についての詳細は、次項をご覧ください。

3 ENTER ボタンを押す

4 ＜／＞ボタンで表示方法などを選ぶ

途中で設定操作を止めたいときは、■ ボタンを押してください。

5 ENTER ボタンを押す

「COMPLETE」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。

共通の設定

AUDIO

❏ FILTER

アナログ出力時、D/A 変換される前の PCM データにデジタルフィルターを設定し、可聴帯域内外の特性を切り換えます。

Standard：　トータルバランスに優れた素直なサウンドです。

Soft：　アタックがまろやかで、余韻が豊かになります。

❏ DIGITAL OUT

アナログ出力で聴いているときにノイズが気になる場合、DIGITAL OUT を「Off」に設定するとノイズが軽減されることがあります。

DIGITAL OUT が「Off」に設定されると、DIGITAL 表示が消灯します。

ASb（自動スタンバイ）

お買い上げ時の設定は「Off」です。

15 ページの「自動スタンバイ（ASb）」をご覧ください。

INITIAL

各設定を工場出荷状態に戻します。

「Execute」を表示させ、ENTER ボタンを押すと、「Clear」と表示され、各設定が工場出荷状態になります。

設定をそのままにしたい場合は、「Cancel」を表示させ、ENTER ボタンを押します。

MP3/WMA に関する設定

DISPLAY

❏ DISC NAME（ディスク名）

MP3/WMA ディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時の設定は「Display」です。

Display：　ディスク名を表示します。

Not：　ディスク名を表示しません。

❏ FILE NAME（ファイル名）

MP3/WMA ファイルのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。

ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします。

お買い上げ時の設定は「Scroll」です。

Scroll：　曲名をスクロール表示します。

Not：　曲名をスクロール表示しません。

❏ FOLDER NAME（フォルダ名）

MP3/WMA ディスクのとき、フォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。

ただし、ナビゲーションモード時は、この設定にかかわらずフォルダ名がスクロールします。

お買い上げ時の設定は「Scroll」です。

Scroll：　フォルダ名をスクロール表示します。

Not：　フォルダ名をスクロール表示しません。

❑ HIDE NUMBER

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。

お買い上げ時の設定は「Disable」です。

Disable: 番号表示を隠す機能を設定しません。（番号は表示されたままです。）

Enable: 番号表示を隠す機能を設定します。（番号表示はなしになります。）

下表は、Disable/Enable を選んだときにどのように表示されるかの例です。

ファイル / フォルダ名	設　定	
	Disable	Enable
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21st Century	21st Century	st Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

Enable に設定した場合、数字とアルファベットとの間にアンダーバー、スペース、ハイフンのいずれかがある場合はファイル番号や日付と認識され隠されます。

❑ BAD NAME

曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれているときの表示を設定します。
ID3 タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。
お買い上げ時の設定は「Not」です。

Replace: 「FILE*」や「FOLDER*」（＊はファイル番号 / フォルダ番号）という表示に置き換えて表示させます。

Not: 表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。

EXTRA

❑ ID3 VER.1

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示について設定します。
お買い上げ時の設定は「Read」です。

Read: 情報を読み込んで表示させます。

Not Read: 表示させません。

❑ ID3 VER.2

ID3 Version 2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示について設定します。
お買い上げ時の設定は「Read」です。

Read: 情報を読み込んで表示させます。

Not Read: 表示させません。

❑ CD EXTRA

CD EXTRA ディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定は「Audio」です。

Audio: 音楽データを再生します。

MP3: MP3 データを再生します。

❑ JOLIET

JOLIET 形式で記録された MP3 の SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込むか、ISO9660 形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVD は、アルファベットと数字以外に、長いファイル名／フォルダ名や文字をサポートしています。
お買い上げ時の設定は「Use SVD」です。

Use SVD: SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込みます。

ISO9660: ISO9660 形式として読み込みます。

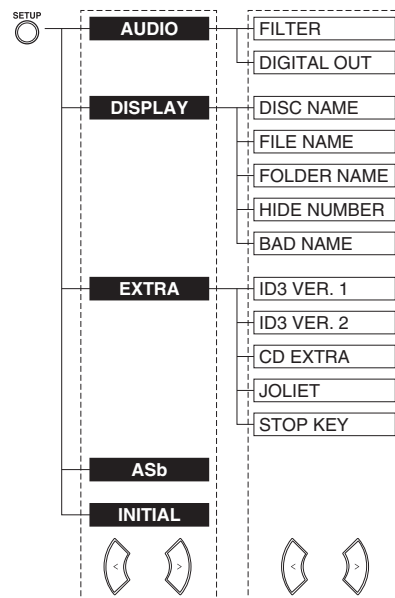
❑ STOP KEY

本体パネルの ■ ボタンを押したときの設定を変えます。お買い上げ時の設定は「Navigation」です。

All Folder: ■ ボタンを 1 回押したときはオールフォルダモードになり、2 秒以上押した時にはナビゲーションモードになります。

Navigation: ■ ボタンを 1 回押した時にはナビゲーションモードになり、2 秒以上押したときはオールフォルダモードになります。

Disable: ■ ボタンを押しても、ナビゲーションモードにもフォルダモードにもなりません。停止ボタンとしてのみ働きます。

設定メニューリスト

困ったときは

まず下記の内容でチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

！ヒント　**修理を依頼される前に**

本機の動作が異常になったときは、本機をリセットすることによって問題が解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行い、本機をリセットしてみてください。

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

停止状態で以下の操作を行います。
リモコンの SETUP ボタンを押し、＜／＞ボタンで「INITIAL」を表示させ ENTER ボタンを押します。
次に＜／＞ボタンで「Execute」を表示させ、ENTER ボタンを押します。
「Clear」と表示されたら、リセットは完了です。

電源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔15 ページ〕
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。
- 本機の電源が入らない場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

電源が切れ、再度電源を入れてもまた切れる

- すべての接続を確認してください。
- 本機の電源が切れる場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。
- ASb（Auto（オート） Standby（スタンバイ））が作動すると、自動的にスタンバイ状態になります。〔15 ページ〕

音声

音声が出力されない

- すべての接続に間違いがないか確認してください。〔14 ページ〕
- ファイルのフォーマットがサポートされているものか確認してください。〔28 ページ〕
- 接続したアンプなどの機器の入力が本機を接続した入力になっていない。

音声の品質が悪い

- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような機器から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力することがあります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に CD のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

本機が振動を受けると音声が途切れる

- 不安定な場所や振動する場所には設置しないでください。

音声性能

- 10 ～ 30 分間ウォーミングアップすると、本機の部品や内部温度が安定し、音が柔らかくなります。
- コード留めを使ってオーディオ用ピンコード、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。

ディスク再生

ディスクが再生できない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。〔16 ページ〕
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。〔8 ページ〕
- 結露しているおそれがある場合は、電源プラグを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。〔8 ページ〕
- 規格内のディスクか確認してください。〔7 ページ〕
- ファイナライズしていない CD-R、CD-RW は再生することができません。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっていると音とびすることがあります。
- ディスクがひどく汚れていないか確認してください。〔8 ページ〕
- ディスクが損傷していないか確認してください。

メモリー再生に曲番号を登録できない

- メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。〔21 ページ〕

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。
- ディスクがひどく汚れていないか確認してください。〔8 ページ〕
- ディスクが損傷していないか確認してください。

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。

接続機器

接続された機器から音が出ない

- 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。〔14 ページ〕
- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。〔14 ページ〕
- 接続機器の音量が最小になっていないか確認してください。

設定

設定メニューが表示されない

- 本機が停止状態であるか確認してください。動作中は設定メニューは表示されません。

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください。〔13 ページ〕
- 新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
- リモコンと本機が離れ過ぎていないこと、リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がないことを確認してください。〔13 ページ〕
- 本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置している場合、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 5 秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

主な仕様

周波数特性	2Hz ～ 20kHz
SN 比	116dB
ダイナミックレンジ	100dB
全高調波歪率	0.0025%
出力電圧 / インピーダンス	− 22.5dBm（光デジタル出力） 0.5V（p-p）/75 Ω（同軸デジタル出力）
RCA 定格出力電圧 / インピーダンス	2.0V（rms）/400 Ω
電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	12W
待機時電力	0.1W
最大外形寸法	435（幅）× 101.1（高さ）× 306.2（奥行）mm
質量	6.4kg
許容動作温度 / 湿度	5 ～ 35 ℃ /5 ～ 85%（結露のないこと）
再生可能ディスク	音楽 CD、CD-R/CD-RW*、MP3/WMA CD

＊ ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。

端子	デジタル	1（光）、1（同軸）
	アナログ	1
	ヘッドホン	1（ϕ6.3 mm）
	RI	2

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ **お名前**
- ▶ **お電話番号**
- ▶ **ご住所**
- ▶ **製品名** C-7070
- ▶ **できるだけ詳しい故障状況**

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO

オンキヨーサウンド＆ビジョン株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

I1109-1

SN 29400830

＊ 2 9 4 0 0 8 3 0 ＊